

【テーマを設定する】

4歳児は宇宙への興味関心があり、惑星を描いて保育室に太陽系を作っていたり、5歳児はサッカーが好きなこともあり『強いチーム』という話題から世界への興味関心が高まっていた。また、毎日実施しているらいおんタイムで「宇宙では息ができないのはなんでだろう？」という疑問をみんなで対話する等、世界からさらには宇宙への興味関心が広がっている。世界にはどんな国があるんだろう、宇宙ってなんだらうという興味関心をさらに探究を深めていくためにテーマとして設定をする。

【活動スケジュール】

◆5歳児◆

5月 地球にはどんな国があるの？
10月 プラネタリウムを見に行こう
11月 太陽と地球・プラネタリウムを作る

◆4歳児◆

5月 太陽系ってなあに？
10月 プラネタリウムを見に行こう

活動①-1 地球にはどんな国があるの？ ～5歳児～

●問いを考える

・日頃からサッカーに親しんでいる子どもたちの間で、「強いチームはどここの国だろう」「日本と戦う国はどこにあるんだろう」という会話が広がり世界の国々への興味や関心が高まった。
・そこで、「地球にはどんな国があるのだろう？」「どんな国旗があるのだろう」といった問いをもとに活動をする。

●環境をデザインする

- ・地球儀
- ・世界の国の紹介絵本
- ・真っ白な世界地図
- ・国旗のプリント



●探究活動を実践する

・地球儀、白地図、国旗シール、世界の国々を紹介する絵本を用意し、子どもたちが自分で調べたり確かめたりしながら、白地図に国旗シールを貼って世界地図を完成させる活動を行った。
・地球儀で国の位置を確認したり、絵本を見ながら「この国知っている」「この国行ったことあるよ」「サッカーが強い国だ」など、友達同士で情報を共有したりしながら、興味のある国を見つけていった。
・「日本と近い国はどこかな」「同じ色や模様の国旗があるね」など、形や位置、国旗の特徴にも注目をしながら主体的に活動を進める姿が見られた。
・初めて聞く名前の国や響きが似ている国の名前にも興味を持ち、友達と伝え合う姿が見られた。

●振り返りを踏まえた気づき

・活動を通して、子どもたちは世界には様々な国があり、それぞれの場所や国旗、文化に違いがあることに気づく姿が見られた。
・また、サッカーという身近な興味から世界への視野を広げ、「もっと他の国も調べてみたい」「この国には何があるのかな？」など新たな疑問や関心を持つ姿が見られた。
・自分で調べ、友達と情報を共有しながら地図を完成させる経験を通して、探究する楽しさや発見する喜びを感じることができた。



活動①-2 太陽系ってなあに？ ～4歳児～

●問いを考える

・子どもたちが図鑑や絵本で宇宙や惑星に触れる中で、「宇宙ってどこまであるの？」「星はなんで光っているの？」「地球の周りには何があるの？」など、宇宙への興味関心や疑問を言葉にする姿が見られた。
惑星の写真やイラストを見ながら「順番も決まっているの？」など関心を広げ、自分たちなりの問いをもち活動を進める。

●環境をデザインする

・宇宙に関する図鑑を準備する
・自由に制作できる素材や十分な場所を確保する。

●探究活動を実践する

・図鑑や写真資料を見ながら惑星の特徴や名前を調べたり、球体や様々な素材を使って太陽や惑星づくりを行った。
・「火星は赤色なんだよ」「土星にはなんで輪っかがついてるんだろう」など疑問や気づいたことを友達と伝えあいながら、部屋中を使って制作を進めていく姿があった。完成した惑星を図鑑と見比べながら、太陽からの順番を確認し、自分たちで並べて太陽系を表現することを楽しむ姿が見られた。

●振り返りを踏まえた気づき

・活動を通して、子どもたちは惑星にはそれぞれ色や大きさ、形に違いがあることや、太陽を中心に順番に並んでいることに気づく姿が見られた。
・また友達と調べたことや作ったものを共有する中で、新たな発見や疑問が生まれ、「他の星のことも知りたい」「星についても調べてみたい」などさらに探究しようとする姿に繋がった。
・宇宙という身近ではないテーマに対しても、自ら調べたり表現したりする中で興味・関心を深めることができた。



活動②宇宙の不思議・プラネタリウムを見てみよう ～4・5歳児～

●問いを考える

・これまで地球や宇宙、世界の国々についての関心を深めた子どもたちから、「地球の外には何があるの？」「星はどうやってできたんだろう？」など、宇宙に対する疑問や興味を持つ姿が見られた。
そこで「宇宙はどのように生まれたのだろう」「地球や星はどのようにできたのだろう」といった問いをもとに活動を進めていく。

●環境をデザインする

・日本科学未来館を訪問
・プラネタリウム鑑賞
・事前に職員2名で下見を行う
・秋の遠足としてマイクロバスをチャーターし向かう



●探究活動を実践する

・日本未来科学館を訪れ、「宇宙はどのように生まれたか」をテーマにしたプラネタリウムを鑑賞する。
・映し出される満天の星や惑星、宇宙の始まりについての映像を見ながら、「星がたくさんある」「地球って宇宙の中では小さいんだね」「宇宙って暗いんだね」など、感じたことや気づいたことを友達と保育者と共有する姿が見られた。
・また、館内展示にも触れながら、地球と宇宙のつながりや惑星の大きさ、星の動きなどに興味を持ち、子どもたちなりに見たり考えたりしながら探究を深めていった。

●振り返りを踏まえた気づき

・活動を通して、子どもたちは宇宙には地球以外にもたくさんの星や惑星が存在し、広く不思議な世界が広がっていることに気づいた。
・また、「宇宙はどうやってできたのかな？」「月には行けるのかな？」「他の星には何があるのかな？」など、新たな疑問や興味を持つ姿が見られ、宇宙への関心がさらに深まった。
・実際に見て、感じて、友達と気づきを共有する経験を通して、自分の知らない世界に目を向け、探究する楽しさや発見する面白さを味わうことができた。



活動③地球と太陽・プラネタリウムを作ろう ～5歳児～

●問いを考える

・日本科学未来館でプラネタリウムを鑑賞し、宇宙惑星への関心を深めた子どもたちから「地球って丸かったね」「太陽大きかったね」「みんなにも星空見せてあげたいね」など、見たり感じたことを表現する姿が見られた。

・そこで「地球や太陽はどんな形をしているのだろう」「宇宙の世界を自分たちで作ることはできるかな」「みんなが入れるプラネタリウムを作るにはどうしたら良いだろう」といった問いをもとに活動を進めていく。

●環境をデザインする

- ・大きな風船
- ・和紙
- ・花紙
- ・段ボール
- ・両面テープ
- ・画用紙
- ・ライト
- ・地球儀



●探究活動を実践する

・造形展に向けて何を作りたいか子どもたち同士で話し合い、「地球と太陽を作ってみたい」「僕たちがみたプラネタリウムをみんなにも見せてあげたい」という意見があがった。

・地球と太陽の制作では、大きな風船を土台にして和紙やお花紙を貼り重ねながら、形や色を工夫して表現する姿があった。地球儀を見ながら、「地球には青い海があるよね」「太陽は赤とオレンジにしよう」など、これまでの経験を思い出しながら協力して制作を進めていった。

・プラネタリウムづくりでは、宇宙からロケットを連想し、ロケットの形を段ボールでつくり、内部に黒い画用紙を貼って宇宙空間を表現した。さらにイルミネーションライトを活用し、「星みたいに光っている」「本物の宇宙みたい」と試行錯誤をしながら、自分たちだけのプラネタリウムを完成させていった。



●振り返りを踏まえた気づき

・活動を通して、子どもたちは見たり学んだりしたことを思い出しながら、形や色、素材の特徴を活かして表現する楽しさを感じていた。

・どうしたら丸くなるかな？もっとプラネタリウムを暗くしたい等、友達同士で相談した役割分担をしながら協同的に一つの作品を作り上げていく経験を重ねていくことができた。

・完成した作品を見て「本当に宇宙みたい」「造形展の日までみんなには内緒にしよう」など、達成感を味わう姿が見られ、宇宙への興味関心や探究心がさらに広がるとともに、友達と力を合わせて表現したりやり遂げる喜びや創造する面白さを感じることができた。